

那須高原ビジターセンターの紹介

11/13の開館に先がけて、ビジターセンタースタッフの2人から、館内の見所を紹介してもらいます

- ★展示室には、那須甲子地域の自然や名所を紹介するムービーや、那須の昔話を紹介する展示、疑似登山体験ができるヴァーチャル登山展示などが展示してあります。
- ★特別展示室では、那須と皇室の関わりを紹介する展示物を鑑賞することができます。
- ★デッキテラスでのんびり過ごすのもおすすめ！



- ★ラウンジでは那須甲子地域の温泉や観光施設を紹介しています。
- ★レクチャールームは、約100名を収容することが可能です。
- ★館内各所に設置されたデジタル技術を用いた展示がおすすめ！

開館時間 4月～11月：8：30～17：30 休館日：なし
12月～3月：9：00～16：30 休館日：水曜日（祝日の場合は翌日）

那須平成の森フィールドセンターの取り組み

たくさんの方に

お越しいただきました

5月22日の開園以来、たくさんの方にお越しいただいています（10月16日現在約9万人）。取材でとりあげていただいたことや、来園者の皆様によるクチコミのおかげです。

今後もカウンター、ガイドウォーク、自然体験プログラムなど、「いまここ」を大切に取り組む所存です。



秋の新プログラム

8月までは午前・午後ともに3時間コースでしたが、「もっと手軽なコースが欲しい」とお客様の声にお応えして、9月から新たに、1時間コースを追加しました。このコースでは、自由散策エリアである「ふれあいの森」をご案内しています。「新しい発見がいっぱいあった」「気軽に参加できる」とご好評の声をいただいています。

さらに10月からは、ふれあいの森2時間コースや学びの森3時間30分コースも追加し、ますますガイドウォークのバリエーションが増えています。



ガイドウォーク特別編

ガイドウォーク特別編は、その季節ならではの見どころに焦点を当てた内容で那須平成の森を満喫できる、月に一度開催のツアーです。7月は夏の花を捜しに、8月は水辺を満喫するプログラム、9月は秋の実りを採りながら散策するプログラムを実施しました。今後は、11月6日（日）に「親子で歩こう！秋の森」、12月4日（日）に「森の冬じたくをみにいこう！」の開催を予定しています。



地域貢献事業

那須町の小・中・高校生を対象とした地域貢献事業に取り組んでいます。この取り組みは、那須平成の森でのプログラム体験を通して、那須町の子も達に地元の自然への理解を深めてもらうことを目的として行っています。参加者の様子を見ると、地元である那須の自然について理解を深める機会になっている様子です。今後も地元との交流を深めていきたいと思っています。



日光国立公園「那須高原ビジターセンター」開館にあたって



ご挨拶



環境省 関東地方環境事務所長
森谷 賢

那須高原ビジターセンターは、日光国立公園那須甲子地域の自然や歴史・文化を紹介し、自然とのふれあいを促進するための中核的拠点として開館します。この施設は、平成20年に宮内庁から所管換を受けた那須御用邸用地の一部を活用する形で5月に開園した「那須平成の森」と一体的に計画・整備を進めてきたものです。那須には、今も噴煙をあげる茶臼岳を中心とした山々が連なり、豊かで多様な動植物がみられます。また、歴史ある文

化が大切に守られている地でもあります。このビジターセンターを訪れる方々に那須の自然や歴史を知っていただき、さらにそこから一歩踏み込んで、周辺のフィールドで自然にふれる旅へと出発していただきたいと考えています。また、広いレクチャールームや会議室、芝生広場なども備えていますので、地域に根ざし、活用される施設となることを期待しています。この秋、那須高原の自然に出会い是非ビジターセンターを訪ねて下さい。



祝辞



那須町長
高久 勝

この度めでたく「那須高原ビジターセンター」が開園を迎えられましたこと、町を代表して心よりお祝い申し上げます。本年5月にオープンいたしました「那須平成の森」と一体的な計画、整備が行われていましたこの施設から、那須町の誇る自然環境や歴史・文化が広く内外に発信されていくことは、当町のイメージアップに寄与するもの確信しております。また、施設の地域活性化拠点としての役割にも大きな期待を寄せるものであり、関係機関

と連携を図りながら共催イベント等の開催を通して町の活性化を進めていく所存です。那須町といたしましては、この度の那須高原ビジターセンターの開館を全町をあげて歓迎すると共に、開館当日には歓迎イベントを開催いたしますので、皆様方にはぜひとも那須高原の自然とのふれあいを楽しみにお出掛けいただければと思います。



無料ミニプログラム新作続々

開園から5か月、無料ミニプログラムもたくさんの方に参加していただきました。

現在ではゲーム系、感性系、解説系、観察系、クラフト系など、ラインナップも充実しているところです。雨を楽しむための「雨だからこそ森歩き」。樹洞を通して知る「あなからはじまる生きものの話」。マクロの世界をじっくり観る「コンパクトデジタルカメラで遊ぼう」など、実施するプログラムは毎日変わります。その日のお楽しみとして、ぜひご参加ください。



自然体験プログラム活動事例紹介

これまで49団体様へ対応いたしました。今回は小学4年生へのプログラム事例を紹介します。

感性（匂う、味わう、観る、聴く、触る）を使うきっかけづくりとなるような「色さがし」「くりかえし言葉さがし」のアクティビティを取り入れながら、森の中を探検しました。児童自らが森から次々と発見するものは、多種多様ないきものつながりへの理解に発展していききました。自分で発見したことで、自然への親しみがより深まっていく時間となりました。

